



2022年8月10日

各位

会社名 株式会社 AKIBA ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 馬場 正身  
(東証スタンダード・コード番号 6840)  
問合せ先 取締役管理本部長 五十嵐 英  
(TEL. 03-3541-5068)

### 2023年3月期第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

2023年3月期第2四半期 連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,600	100	100	50	5.44
今回修正予想 (B)	7,000	250	225	150	16.33
増減額 (B-A)	△600	150	125	100	
増減率 (%)	△7.9	150.0	125.0	200.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	7,559	186	188	96	10.47

※2021年7月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、2022年3月期の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### 修正の理由

売上高につきましては、PCメーカー向けのメモリ販売が、コロナによるPC需要の一服を受けて在庫調整を進めていることもあり、減少する見込みであります。一方で、段階利益につきましては、3Gから5Gへのマイグレーション工事関連やローカル5G関連などの各種通信建設工事が順調に拡大していること、HPC事業においても例年売上の少ない上期に売上を伸ばしていること、並びに、上期に見込んでいた投資や広告宣伝が下期にずれ込んだことで販管費が予算比で抑制されたため、業績予想を上回る見込みであります。

なお、新型コロナウイルス感染症の変異株の流行拡大に加えて、ウクライナ情勢、中国のロックダウン、世界的な半導体不足が継続していることで、景気の先行きに不透明感が強いことから、通期連結業績予想につきましては、現時点では、従来発表予想を据え置くことといたしました。

以上